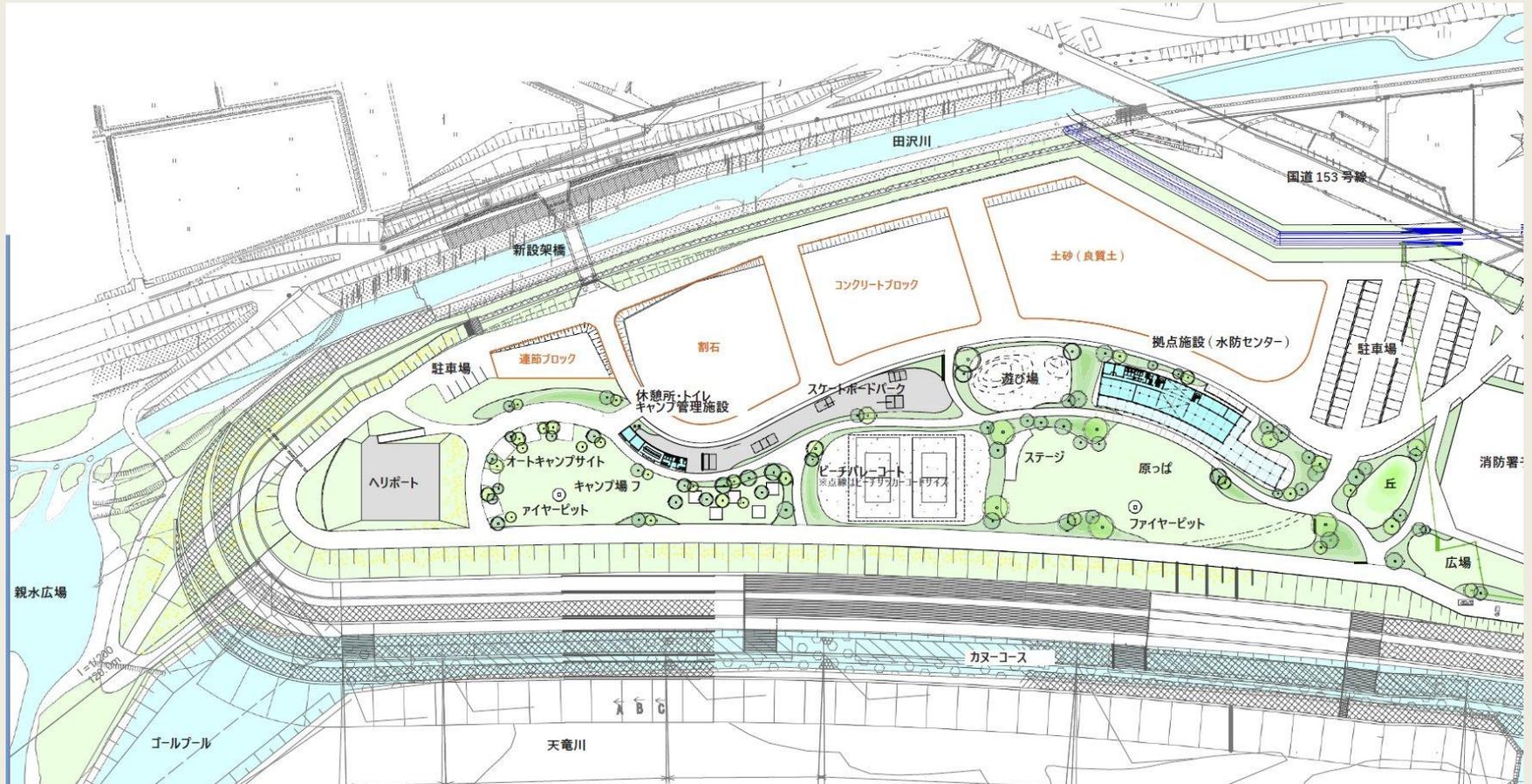


# かわまちづくり賑わい拠点整備基本構想



# 「かわまちづくり」の経過

- 平成30年度 役場若手職員「かわまちづくりプロジェクト」スタート  
天竜川や水辺の新たな利活用、賑わいの場づくり検討
- 令和元年7月31日 国体カヌー会場に内定（第2次選定）
- 令和2年3月13日 国土交通省「天竜川高森かわまちづくり」  
支援制度の認定
- 3月30日 // 登録証の伝達
- 令和2年3月31日 国体ビーチバレー会場に内定（第3次選定）
- 令和2年10月19日 国体の1年延期が決定
- 令和5年3月31日 国土交通省「MIZBEステーション」登録制度を  
新設、「山吹地区MIZBEステーション」登録
- 令和5年3月 「かわまちづくり賑わい拠点（MIZBEステーション）」  
整備基本構想を作成
- 令和6年 国民体育大会から国民スポーツ大会に名称変更

# 国体ビーチバレー誘致の経緯

平成31年3月議会の一般質問（平成31年3月13日）より

<質問>大島正光議員

- ・カヌー競技とあわせてビーチバレー競技の誘致を。
- ・ビーチバレーはまだどこも開催場所に手を挙げていない。
- ・長野県には海がなく、河川沿い等の広場でやるのがいい。
- ・町はVCトライデンツとホームタウンパートナー協定を結んでいる。

<答弁>壬生町長

- ・**県の国体準備室から打診があり、前向きに検討している。**
- ・いま県、国、県バレーボール協会などと調整を行っている。
- ・スポーツ施設は上手にやれば関係人口の増加につながる。
- ・水辺で行う競技で、カヌーと共通の施設も多いと考えられる。
- ・複数の競技でやる方が町民にも喜ばれ、集客力も上がる。
- ・宿泊の受け入れや交通輸送の能力が課題になる。